平行宇宙？

創世記1：1

2022/

突然ですが、平行宇宙って、何のことかご存知ですか？　これは現在の宇宙物理学で盛んに議論されている一つの問題、あるいは可能性として取り上げられている、宇宙の姿です。要するに、私たち現代の人間には、証明の仕様も知り様もないのですが、宇宙は、私たちがなじんできたこの宇宙だけではなく、それとは別に、しかも同時に、同じ場所に、まったく異なっていながら、私たちの宇宙に非常によく似た宇宙が、あたかも並行して存在しているかのように、存在していると考えるものです。別の宇宙があって、それも遠くではなく、私たちの手の届くところよりもっと近く、私たちの体の中で交差したりしながら、存在しているというのです。宇宙人だの、地球生物に似た生物の存在する星だのという、前世紀の考え方を全く飛び越えたものです。

物理学の世界は、私たち凡人には全く分かりません。しばらく前はブラックホールが話題になりました。あまりにも質量が高くて、つまり引力が強くて、光さえ引き寄せられてしまうために、そこからは光が脱出できずに真っ暗になってしまうということで、ブラックホールと呼ばれていましたが、今ではこのブラックホールから抜け出す物質も想定され、ブラックホールの大爆発が超新星と呼ばれるようになったりしています。

異次元の世界が想定され、陽子が消えてなくなる現象が起こるのは、陽子が異次元に行ってしまったからだと考え、その現象を調べるための巨大な実験場が、日本のどこかに作られると、かなり話題になっていました。佐賀県の背ぶり山も候補地の一つでしたね。何兆円という巨大プロジェクトになるというので、一時は大騒ぎになっていました。

ニュートリノとかいう、理論だけで存在すると推定されていたものが、ラジオゾンデという実験施設で存在が実証されたので、それに関わった日本人物理学者が、ノーベル賞をもらったのも、最近のことです。ニュートリノとは、どんなものをも貫いて行ってしまうも物資、光の一つだということです。

それから、暗黒物質などというのも、話題になりましたね。宇宙全体の質量を100と仮定すると、そのうちの96パーセント以上は、現代のどのような機器によっても検出されない、要するに証明も説明もできない物質であるというのです。理論物理学などという学問をする人間の頭の中はどうなっているのか、まったく不可解です。

しかし、そのような世界をお造りになったのが、私たちの神様です。この神様の存在だとか性質だとかを、人間の脳みそで説明しようとするのは、あまりにも愚かなことです。大海の水の量を、盃で測ろうとするよりも、もっと馬鹿々々しいことです。神は、すべてを超越し、すべてを貫き、すべてのものに中におられ、すべてを内に宿しておられるかお方であると、聖書は教えています。

この大いなる神様が、どういうわけか、人間を愛してくださっているのです。初めから、人間をご自分の愛の対象として、愛を注ぐ相手として、お造りになったのです。天のみ使いは、機能的に、能力的に、あるいは知的にも、人間よりはるかに優れています。弱い肉体に支配されずに、大きなことをやり遂げることができます。空を飛び、瞬間移動のようなこともできるようです。でも神様は、このみ使いよりも、弱く小さい人間を愛してくださったのです。

天使が罪を犯したとき、神は天使を救おうとはなさらずに、厳しい裁きをお与えになりました。しかし、人間が罪を犯したとき、神様は人間を哀れみ、心を痛めてくださいました。そして、救いの御手を伸べてくださったのです。その救いの御手がイエス・キリストです。人間は、神の愛の対象です。だから救いの対象となったのです。神様は,独り子イエス・キリストの命に代えて、罪を犯した人間をお救いになったのです。

私たちは、神様に愛されているという事実に立った生き方をしましょう。誰が何と言おうとも、私たちは大きな神様、絶対の存在であられる創造主に愛されているのです。何をくよくよ悩んでいるのですか？　どうしてうなだれているのですか。あなたはこれ以上尊く偉大な存在はない、無限の神様に愛されているのです。それで十分ではありませんか？　この神様の胸に憩えばいいのです。甘えればいいのです。自分の罪だとか、欠点だとか、弱さだとか、ふがいなさない落ち込むことはありません。

密かに憧れていた男性に、あるいはそっと思い詰めていた女性に、愛してもらっていると知ったとき、私たちは周囲の状況がたとえどうであっても、有頂天になり、幸せになり、うれしさがこみ上げてきます。それよりももっと素晴らしいのが、天地の造り主である神様に愛され続けていることです。

悪魔が私たちの醜いところを指さし、私たちの自尊心を切り刻み、無茶苦茶にしてしまうときも、神様は私たちを愛し続けておられるのです。他人が私たちに後ろ指を指し、ある事ないことを言いふらすときも、神様はきちっと私たちをご覧になって、理解しておられるのです。人間には有限なのか無限なのかさえわからない、この広大な宇宙の、微に入り際にいるまでをお造りになった神様が、私たちのすべてをご存じなのです。そして愛といたわりのまなざしでご覧になっておられるのです。私たちの神様は、実におおらかな神様です。

私たちはこの神様に似せて造られていることに、思いを馳せてみましょう。私たちも、本来、神様に似たおおらかな存在であり、愛する存在なのです。その性質は、罪のために傷つけられ、破損してしまっているかもしれません。しかし、依然として、神様に似た性質をいただいているのです。その事実を大切にしましょう。その神様に似せて造られた私たちの性格は、弱くなって破損しているかもしれません。しかし、まだ完全に破壊されつくしたのではありません。完全に消しされてしまったのでもありません。まだまだ、神様に似せて造られた美しい性質が、私たちの中に残っているのです。

クリスチャンの成長とは、この神に似せて造られた美しい性質を、大切にし、修復し、育てていくことです。それは、私たちの内に住んで下さる、神の霊、聖霊の助けによって、そして私たちの努力によって可能なことです。私たちの能力だけでは達成できません。聖霊の助けが必要です。また、聖霊に任せっきりで、私たちの努力をないがしろにすると、それも無意味なことになってしまいます。聖霊の力を信頼し、聖霊の助けを祈りながら努力をするのです。すると、私たちの中に、神の美しい性質が再形成されていくのです。
それで、人々はあなたの中に、神の姿を見ることになるのです。